

妙安寺だより 378

節分

節分とは、「季節の移り変わる時、すなわち立春・立夏・立秋・立冬の前日の称号。特に立春の前日をさす。この日の夕暮れ、柊（ひいらぎ）の枝に鰯（いわし）の頭を刺したものを戸口に立て、鬼打豆と称して炒（い）った大豆をまく」（出典『広辞苑』）

鬼とは心の中に住む邪鬼や、災いをもたらすものとされており、豆をまく時に「鬼は外、福は内」と声をかけ、邪鬼や災いが入ってこないよう、鬼を退散させます。

しかしながら、当山を含め日蓮宗のお寺では、「鬼は外」とは決して言いません。なぜならば、鬼（鬼子母神様）をお祀りしているからです。

鬼子母神様は、子供をさらって食べたりと悪業を繰り返しましたが、お釈迦様に子供を失った悲しみを体験させられた後に改心して、子供をさらうことを止め、お釈迦様に帰依しました。そして「法華経の行者を守護する」という誓いを立てられました。その誓いが説かれてあるお経が『妙法蓮華経陀羅尼品第26』で、私たちが日々お唱えしているお題目は、『妙法蓮華経』に帰依します、という意味があります。

つまり、鬼子母神様は法華経を信仰する私達の守護神ですから、「鬼は外」ということができないのです。

平成28年2月の行事予定

◎節分会・星祭り・方除け祈願祭

2月 7日（日） 午前 11時より 木焼式
午後 1時より 星祭り・方除け祈願、豆まき、福引

◎宗祖御降誕会、歴代上人報恩法要・永代供養追善法要

2月 16日（火） 午後 1時より